

石井鶴三調査研究委員会

1 研究テーマ

上小教育と深く関わり、特に美術教育に功績の大きかった石井鶴三先生の作品展示や立体等作品展等について検討・管理・運営をし、その充実を図る。

2 研究内容

- (1) 石井鶴三美術資料室の様態替えと作品研究
- (2) 第回39上小地区児童生徒立体等作品展の計画と実施
- (3) 来年度の立体等作品展の市立美術館との連携の打ち合わせ
- (4) 石井鶴三委員会の活動報告の作成

3 研究のまとめと課題

7月13日(土)石井鶴三美術友の会総会が開催されました。合わせて行われた研修会では、信州大学教育学部図工美術教育助教授、大島健一先生より『教育界における石井鶴三』と題した講演を聞きました。

大島先生から、石井鶴三にあてた手紙から読み取る、長野県的美術教育にまつわるできごとを紐解いていくと、山本鼎や信濃教育会の動き、それぞれの先生方の考え方が見えてくるという、大変興味深い研究について知ることができました。

第39回上小地区児童生徒立体等作品を下記のように開催しました。

期間:令和7年1月18日(土)~1月27日(月)

会場:上田市立美術館(サントミュージゼ)内1階子どもアトリエ

休日だけでも650人以上の来場者があり、多くの方々に関心をもっていただきました。出品した児童生徒のご家族が中心に鑑賞されていきますが、一度入選したことがきっかけで、毎年来てくださる方もおられます。展覧会の開催を継続することで、各校での図工美術の取り組みに、楽しみや華やかさが加わることを目指していきたいと思います。